

SAK-0594



港製器工業株式会社

MINATO SEIKI IRON WORKS CO., LTD.

スーパーフェンス

シグマ (Σ)

取付説明書

(チドリ横格子) アルミ笠木

このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- この取付説明書にしたがい、製品を安全に正しく施工していただきますようお願いいたします。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- また、施工後も大切に保管いただき、メンテナンスの際などにご参照ください。

【施工前】

- 必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 板材は、天然木を使用していますので、割れや反り、伸縮が生じる場合がございますが予めご了承承願います。
- 本製品以外の目的に使用・改造・変更はしないでください。
- 上に乗ったり、揺すったり等、大きな衝撃をあてないでください。

【施工上のご注意】

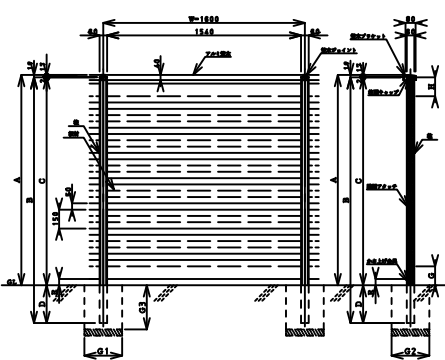
- 柱の間隔は（柱芯一芯）1600mm以内に施工してください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
- 柱の底部はテープ等でふさぎ、柱内部にモルタルが入らないようにしてください。また、柱内部にモルタルを詰めたりしないでください。アルミなどの金属が腐食する原因になります。
- フェンスはブロック上の施工はしないでください。
- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系アルカリのコンクリート用湿和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。
- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

1. 部材名称

柱 (60×60)	溝カバー
板 材	柱頭キャップ
アルミ笠木	笠木ブラケット
笠木ジョイント	隙間アタッチ
笠木端部高さ	かさ上げ金具

- 1 -

2. 基本寸法 横格子チドリ（目地）アルミ笠木



H12	250	250	300
H14	300	300	300
H16	300	300	350
サイズ	G1	G2	G3

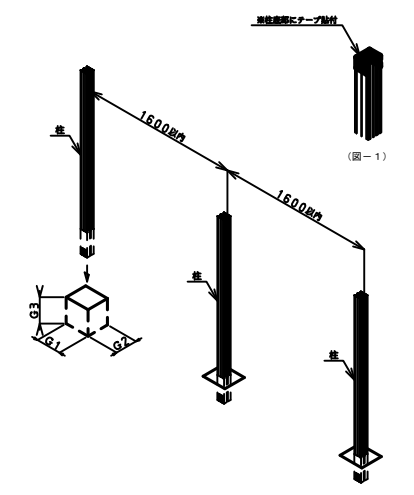
H12	10
H14	12
H16	15
サイズ	欄間長さ

H12	1189	1370	1170	200	50	170	150	70
H14	1379	1610	1360	250	50	160	150	60
H16	1669	1950	1650	300	50	50	150	150
サイズ	A	B	C	D	E	F	G	H
	GL・窓大	窓間	GL・窓大	欄間入り	下欄間寸	上欄間寸	下欄間寸	上欄間寸

- 2 -

3. 柱の取付け

- 基礎のサイズは2ページの基礎サイズを参照ください。G1、G2、G3の地盤がやわらかい場合は大きな基礎寸法としてください。
- 柱の底部にモルタルが入らないようテープ等でふさいでください。（図-1）柱の内部にモルタルが入ると腐食する原因となります。
- 柱の傾れを調整し柱頭部のレベル出しをして取付けてください。

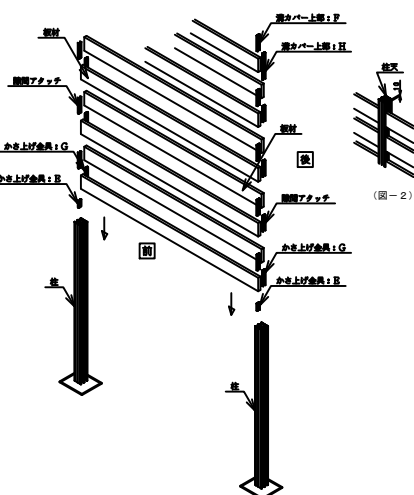


- 3 -

4. 板材の取付け

- かさ上げ金具：E、Gを挿入してGと板材に隙間をあけます。※板材はチドリで「目地」の挿入となります。
- 板材と板材の間には、隙間アタッチを挿入して隙間を設けます。（溝カバーは上からの差込みか、横から叩き込みのどちらでもできます）
- 全ての板材と溝カバーを最上段まで挿入します。

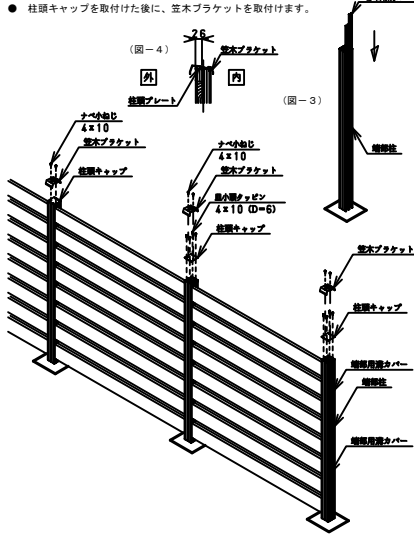
注記：上部の溝カバーは柱天と10mm程度の段差（隙間）を設けます。（図-2）



- 4 -

5. 柱頭キャップ、笠木ブラケットの取付け

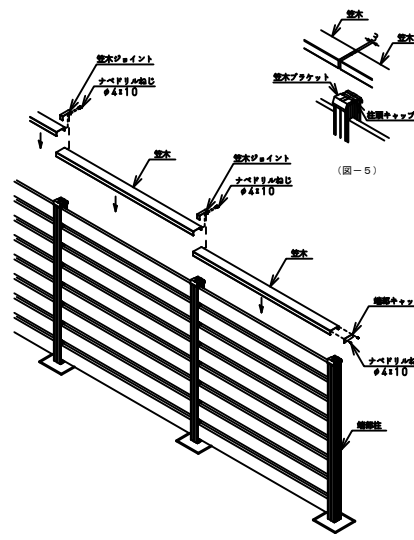
- 板材、溝カバーを取付後、端部になる柱には端部用の溝カバーを取付けます。（図-3）
- 板材、溝カバーが全て取付きたら、柱に柱頭キャップを取付けます。柱頭キャップの向き（前・後）は笠木ブラケットに向きがあるためブラケットの向きに合わせます。（図-4）
- 柱頭キャップを取付けた後に、笠木ブラケットを取付けます。



- 5 -

6. アルミ笠木の取付け

- 笠木は先に取付けた笠木ブラケットに上からかぶせるようにはめ込みます。位置は、柱中心に3mmの隙間をとります。（図-5）
- 笠木を取付けて全体の納まりを確認後に笠木ジョイントを取付けます。
- 端部柱になる笠木には、端部キャップを取付けます。



- 6 -

●施工終了後、この取付説明書はお施主様へお渡しください。

●製品の仕様は、予告なしに変更する場合がございます。



港製器工業株式会社

図 名	スーパーフェンス・Σ取説（チドリ横格子）アルミ笠木							
NAME								
作成 DR' N DATE	21、8、17	尺度 SCALE	-		承認 APPROVAL	花栗	検図 CH' D BY	里
製図 DR' N BY	大原	図番 DWG. NO.						
5AK-0594							製品名	スーパーフェンス・Σ
A3								



港製器工業株式会社

MINATO SEIKI IRON WORKS CO., LTD.

【※本図の著作権は港製器工業株式会社所有の為、無断複写及び目的外使用を禁ずる。】



スーパーフェンス シグマ (Σ)

取付説明書 (チドリ横格子) アルミ笠木

このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- この取付説明書にしたがい、製品を安全に正しく施工していただきますようお願いいたします。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- また、施工後も大切に保管いただき、メンテナンスの際などにご参照ください。

【施工前に】

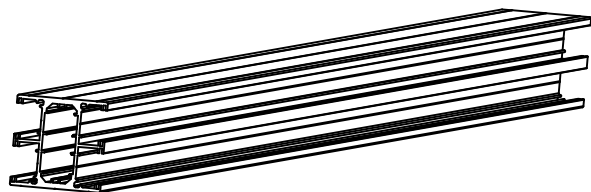
- 必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 板材は、天然木を使用していますので、割れや反り、伸縮が生じる場合がございますが予めご了承ください。
- 本製品以外の目的に使用・改造・変更はしないでください。
- 上に乗ったり、揺すったり等、大きな衝撃をあたえないでください。

【施工上のご注意】

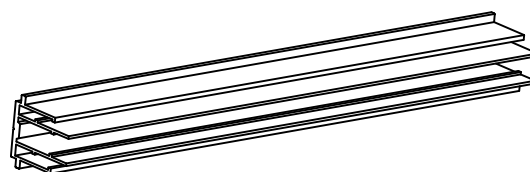
- 柱の間隔は（柱芯一芯）1600mm以内に施工してください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
- 柱の底部はテープ等でふさぎ、柱内部にモルタルが入らないようにしてください。また、柱内部にモルタルを詰めたりしないでください。アルミなどの金属が腐食する原因になります。
- フェンスはブロック上の施工はしないでください。
- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系アルカリのコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。
- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

1. 部材名称

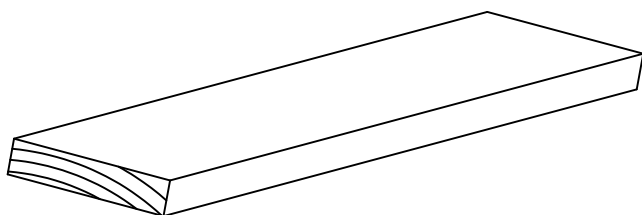
柱 (60 x 60)



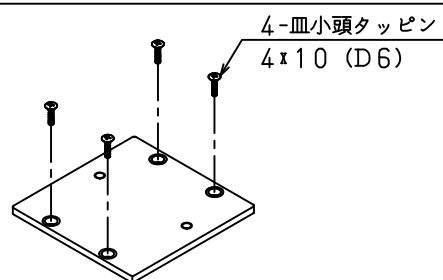
溝カバー



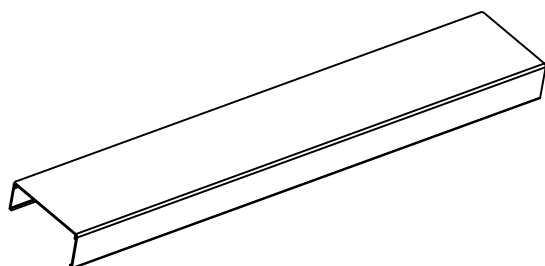
板 材



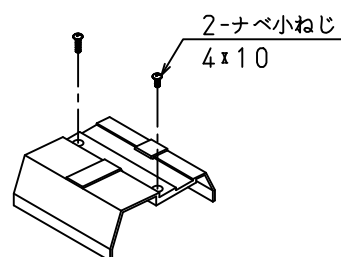
柱頭キャップ



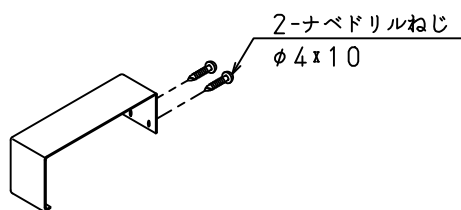
アルミ笠木



笠木ブラケット



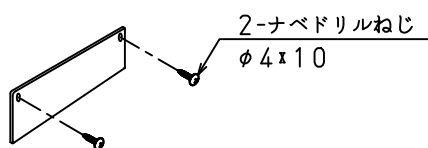
笠木ジョイント



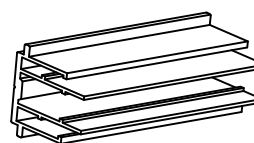
隙間アタッチ



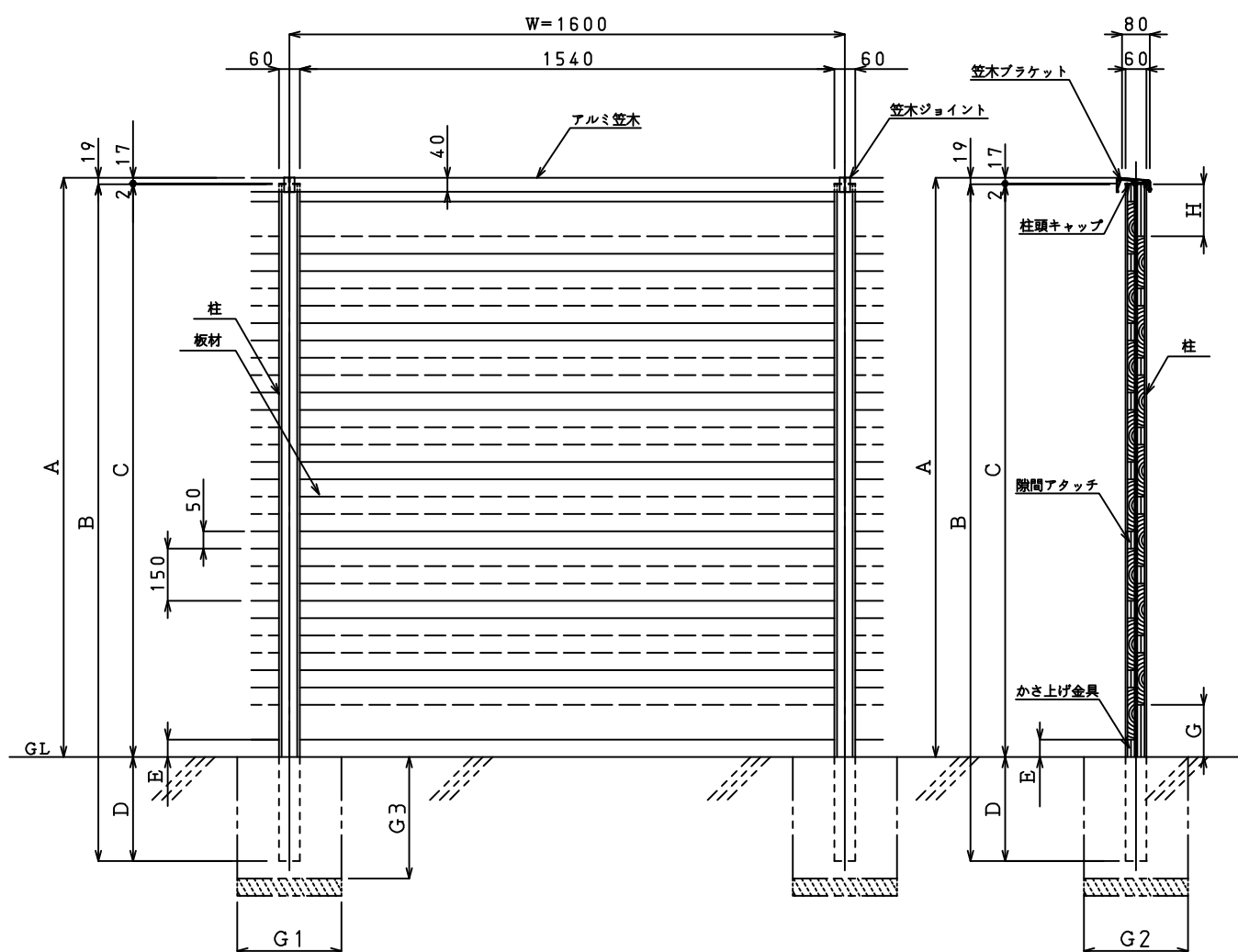
笠木端部塞ぎ



かさ上げ金具



2. 基本寸法 横格子チドリ（目地）アルミ笠木



※本図はH16

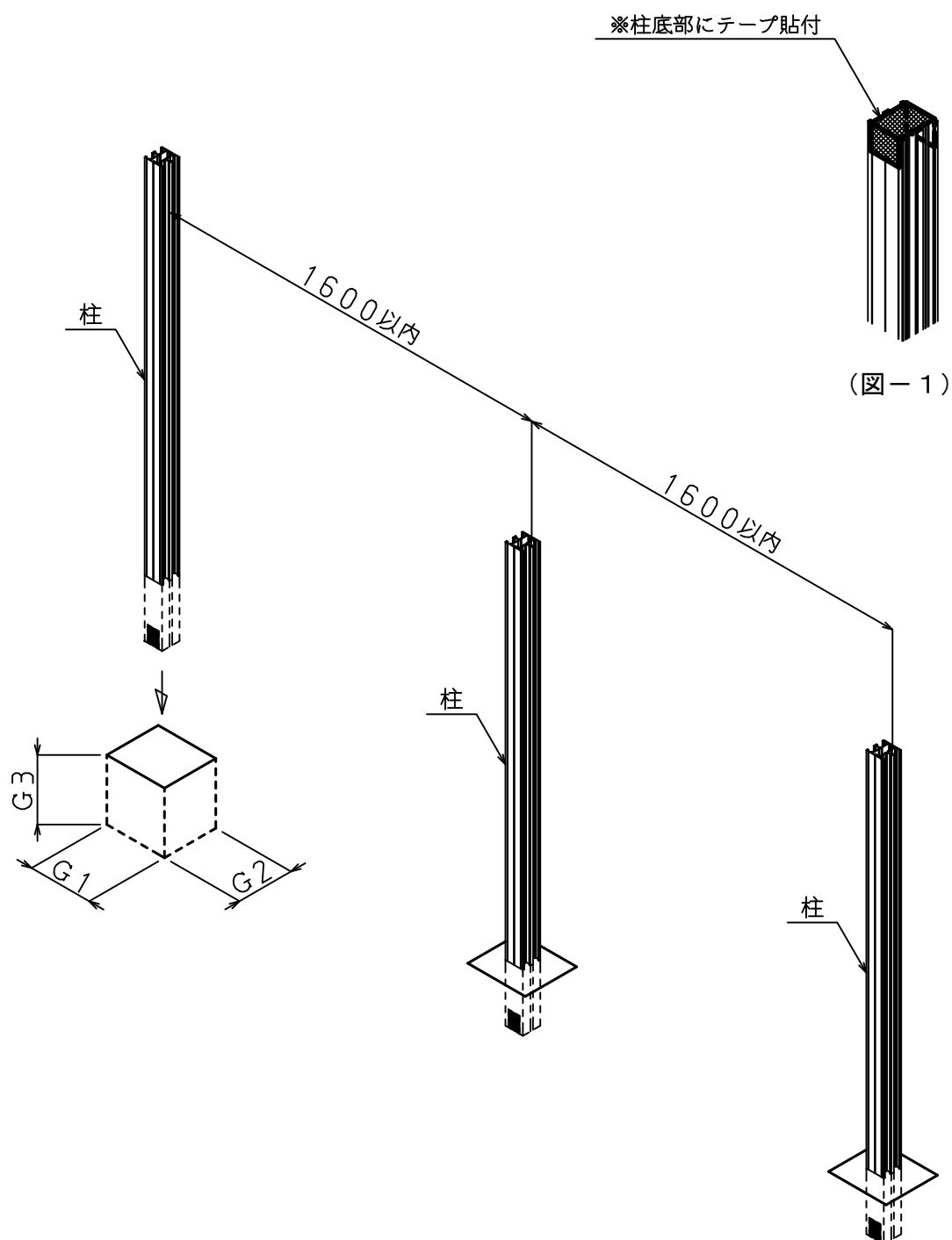
H12	250	250	300
H14	300	300	300
H16	300	300	350
サイズ	G1	G2	G3

H12	10
H14	12
H16	15
サイズ	板材枚数

H12	1189	1370	1170	200	50	170	150	70
H14	1379	1610	1360	250	50	160	150	60
H16	1669	1950	1650	300	50	50	150	150
サイズ	A	B	C	D	E	F	G	H
	GL+笠木天	柱長さ	GL+柱天	柱根入れ寸	下部隙間寸	上部隙間寸	下部隙間寸	上部隙間寸

3. 柱の取付け

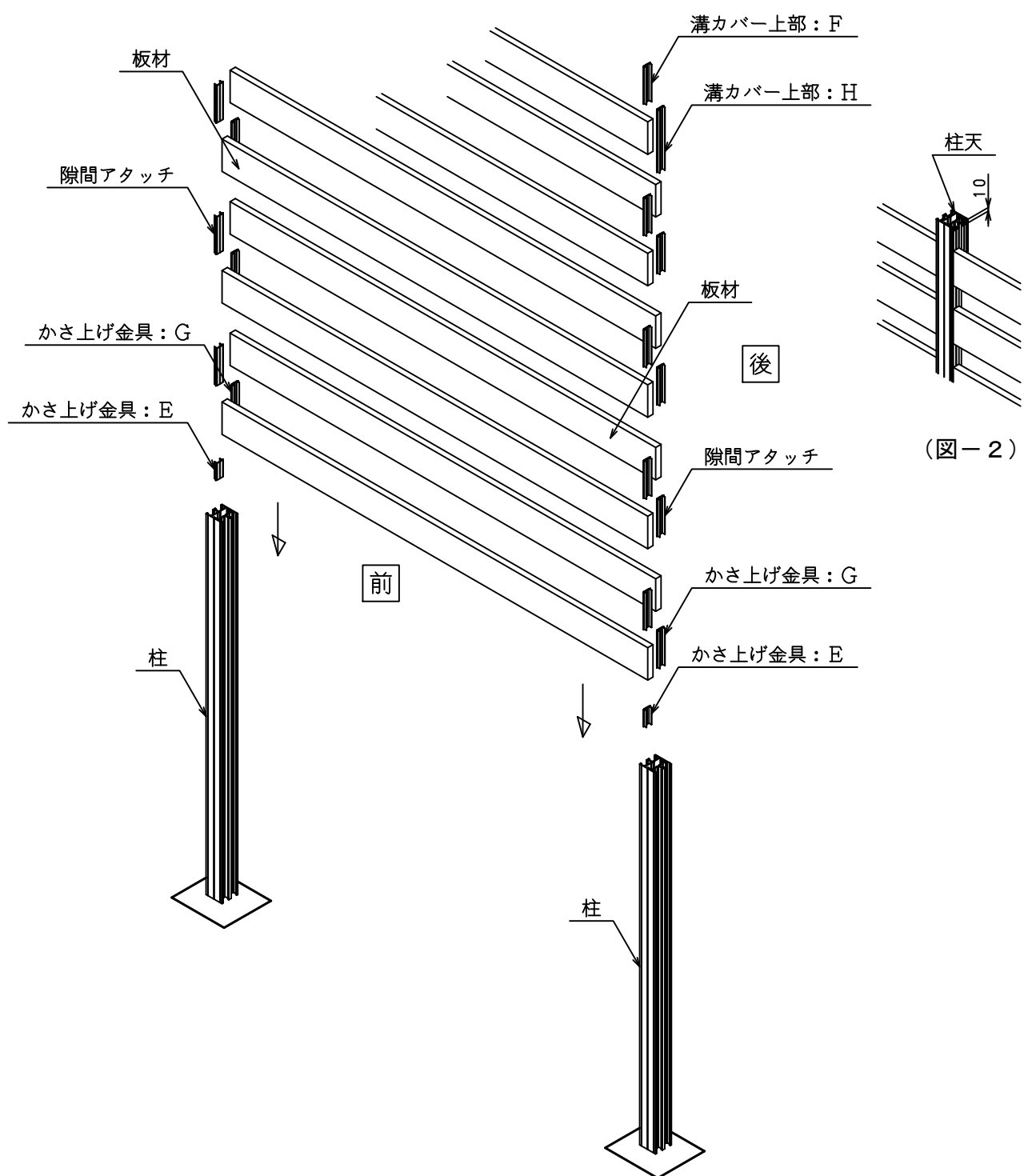
- 基礎のサイズは2ページの基礎サイズを参照ください。G 1, G 2, G 3 地盤がやわらかい場合は大きめの基礎寸法としてください。
- 柱の底部にモルタルが入らないようテープ等でふさいでください。(図-1)
柱の内部にモルタルが入ると腐食する原因となります。
- 柱の倒れを調整し柱頭部のレベル出しをして取付けてください。



4. 板材の取付け

- かさ上げ金具：E、Gを挿入してG Lと板材に隙間をあけます。
※板材はチドリで **前後** の挿入となります。
- 板材と板材の間には、隙間アタッチを挿入して隙間を設けます。
(溝カバーは上からの差込みか、横から叩き込みのどちらでもできます)
- 全ての板材と溝カバーを最上段まで挿入します。

注記：上部の溝カバーは柱天と10mm程度の段差（隙間）を設けます。（図－2）

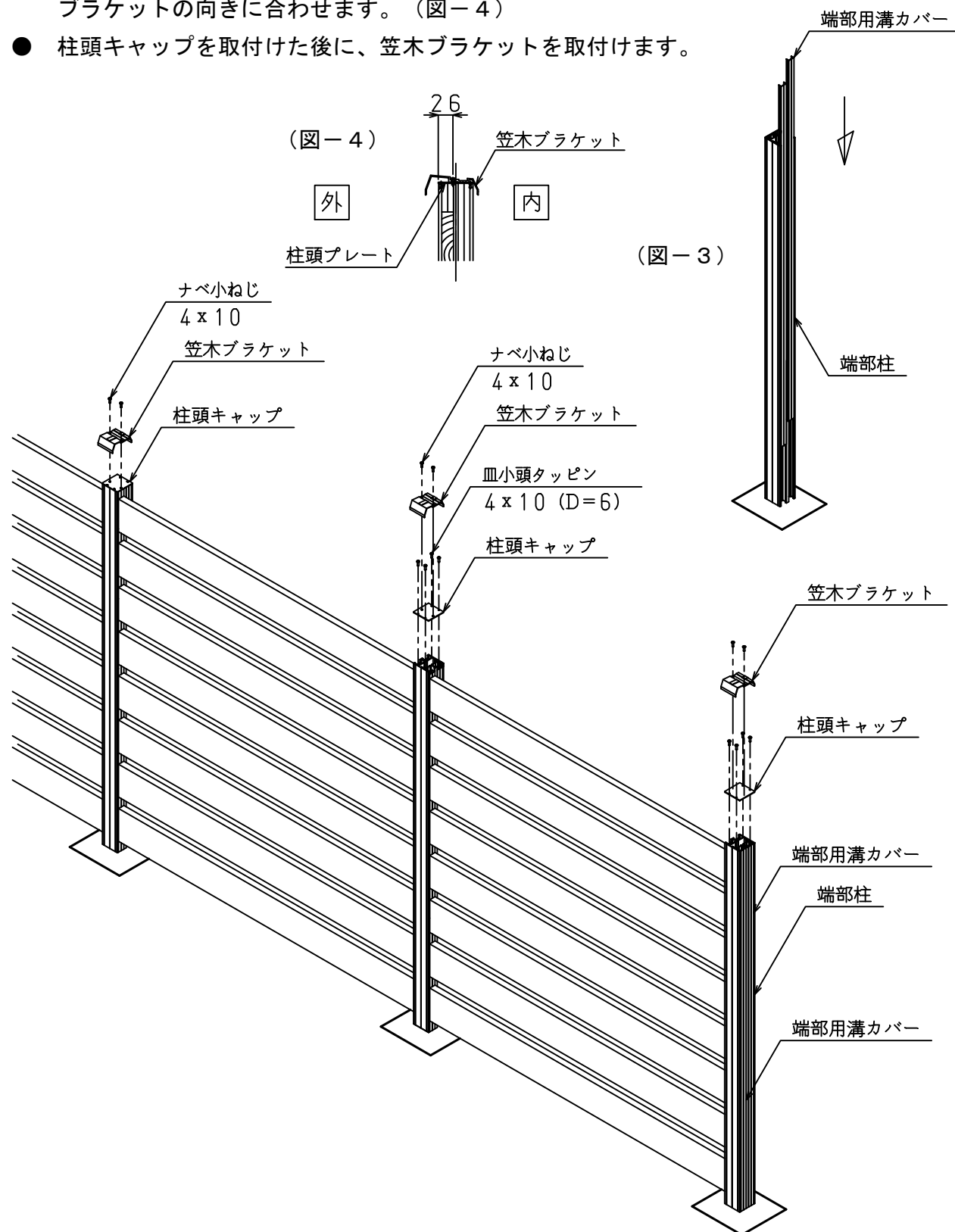


5. 柱頭キャップ、笠木ブラケットの取付け

- 板材、溝カバーを取付後、端部になる柱には端部用の溝カバーを取付けます。（図－３）
- 板材、溝カバーが全て取付きましたら、柱に柱頭キャップを取付けます。

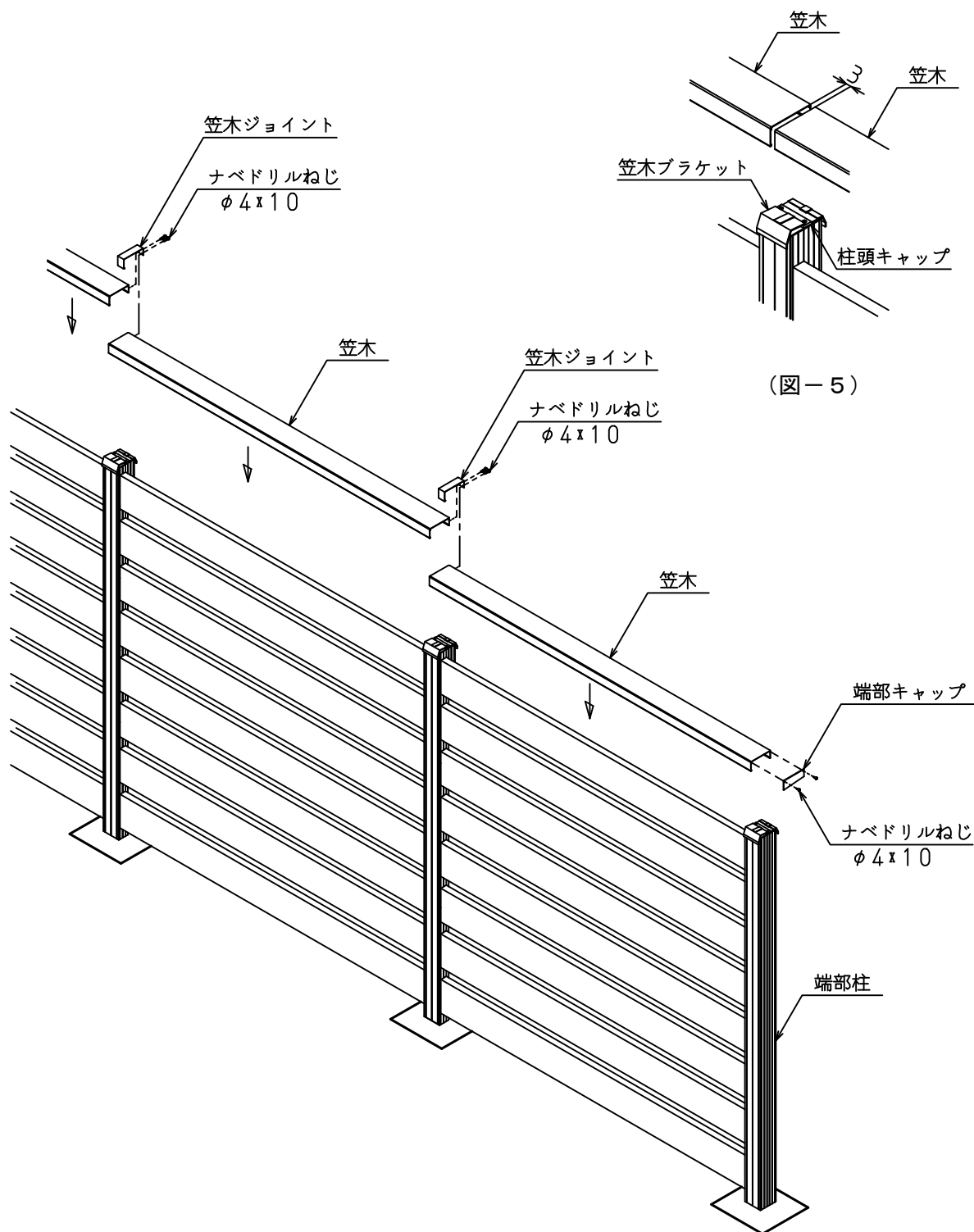
柱頭キャップの向き（前・後）は笠木ブラケットに向きがあるためブラケットの向きに合わせます。（図－４）

- 柱頭キャップを取付けた後に、笠木ブラケットを取付けます。



6. アルミ笠木の取付け

- 笠木は先に取付けた笠木ブラケットに上からかぶせるようにはめ込みます。
位置は、柱中心に3mmの隙間をとります。（図-5）
- 笠木を取付けて全体の納まりを確認後に笠木ジョイントを取付けます。
- 端部柱になる笠木には、端部キャップを取付けます。



- 施工終了後、この取付説明書はお施主様へお渡しください。
- 製品の仕様は、予告なしに変更する場合がございます。



港製器工業株式会社